



水土里情報を活用した「土地改良区施設管理台帳システム」について紹介します。

(1 / 2)

今回紹介する団体：水土里ネット富山、県内土地改良区

取組概要

内容：ダム、頭首工、幹線用排水路を管理する用水土地改良区において、管理施設の施設情報をGIS化し、施設情報のほか、幹線用水路から取水する取水門位置、横断構造物などの関係情報もファイリングし情報の一元化を図る。これらの情報を施設管理、水利施設の財産管理・試算評価に活用。

経緯：関係情報が一元化されていないことにより管理が非効率であることや、更新整備計画が立てづらい状況にあった。

このようななか、水土里ネット富山は、土地改良区からの依頼を受け、平成25年度に関係情報を含めた情報の一元化のシステムを構築。

■対象施設



ダム



幹線用水路



主要水門



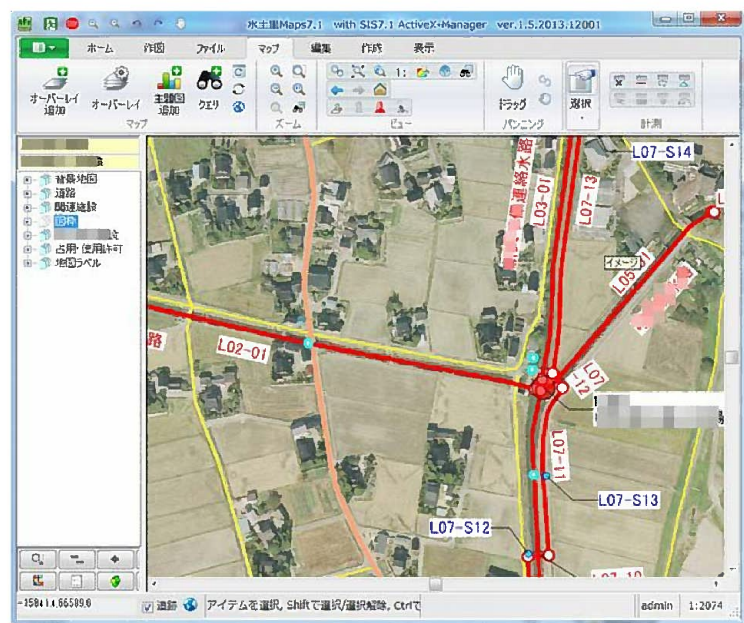
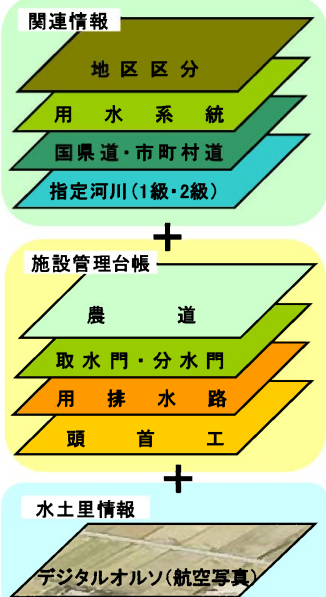
取入水門



横断構造物
占用物件

■データ・システム構築状況

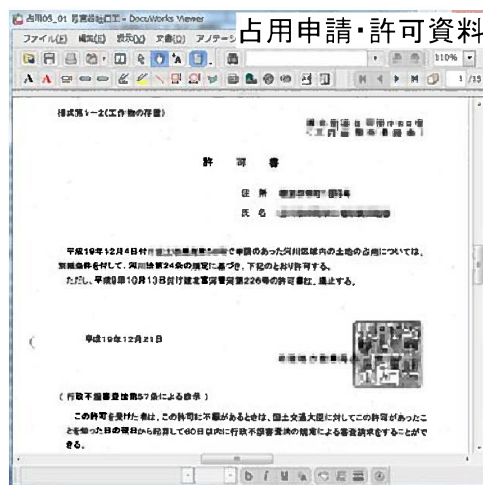
レイヤ構成



システム画面

■ 関係情報のファイリング

横断構造物、占用物件について、位置情報のほか、写真、占用申請書類等を関連づけて構築することで、管理業務の効率化が期待される。

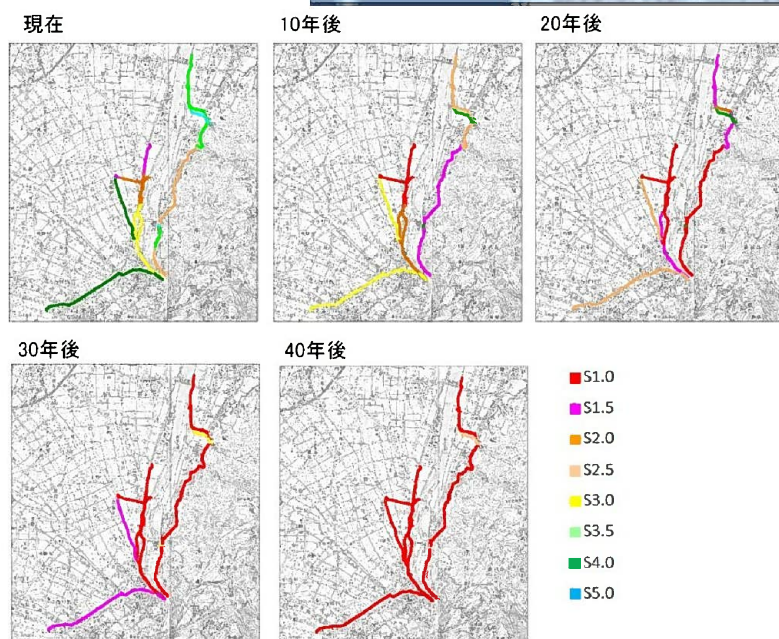


■ 資産評価

施設管理台帳において構築した資料を基本に、各施設の資産評価として、建設費に支出済み換算係数を乗じた再建設費を算定し、属性情報に関連づけて構築。今後の複式簿記への対応に向けた準備作業を行った。

■ 劣化シミュレーション

施設管理台帳のGISデータにストックマネジメント評価資料を関連付け、幹線用水路における健全度の進行状況のシミュレーションを行い、今後の対策や資金計画の検討に活用。



期待される効果

施設管理に関する情報の一元化により管理の円滑化を図るとともに、老朽化が懸念される農業水利施設の管理保全を図るストックマネジメントへの活用が期待される。

今後の活用予定

今回の取り組みを他土地改良区へと波及させ、土地改良区と連携した施設管理体制の構築を推進するとともに、水土里情報の有効な活用も展開する。

■ お問い合わせ先

富山県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター 076-424-3380
 農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添) 03-6744-2212(直通)